



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東北新社

コード番号 2329 URL <https://www.tfc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小坂 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中野 智司 TEL 03-5414-0211

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	36,537	△4.6	1,446	△43.8	965	△68.3	1,709	△6.6
2023年3月期第3四半期	38,299	4.3	2,572	5.2	3,048	△16.2	1,830	△18.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,907百万円 (△18.2%) 2023年3月期第3四半期 3,556百万円 (72.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	38.04	ー
2023年3月期第3四半期	40.73	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	98,385	79,962	80.4
2023年3月期	97,148	77,946	79.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 79,129百万円 2023年3月期 77,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	0.00	ー	19.00	19.00
2024年3月期	ー	0.00	ー		
2024年3月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,371	△6.4	2,325	△44.7	1,991	△58.7	3,087	△1.5	68.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	46,735,334株	2023年3月期	46,735,334株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,786,929株	2023年3月期	1,786,847株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	44,948,449株	2023年3月期3Q	44,948,487株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高36,537百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益1,446百万円（前年同期比43.8%減）、経常利益965百万円（前年同期比68.3%減）となりました。減収に加え、一部の従業員に対する手当の見直し等による人件費の増加や保有する投資事業組合の運用損の発生等が影響し、減益となりました。一方、当社の連結子会社が営むスーパー事業の譲渡に伴う特別利益を1,637百万円計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益も1,709百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 広告プロダクション

広告プロダクションの売上高は、前年同期に比べ4.6%増の17,730百万円となり、営業利益は前年同期に比べ1.0%減の1,048百万円となりました。株式会社ENJINの決算期を12月から3月に変更したことに伴う増収効果や、CM制作部門が当第3四半期は好調だったこともあり、増収となりましたが、利益に関しては前年同期並みとなりました。

② コンテンツプロダクション

コンテンツプロダクションの売上高は、前年同期に比べ8.1%減の7,992百万円となり、営業利益は前年同期に比べ66.8%減の244百万円となりました。音響字幕制作部門において、前年同期好調だった動画配信サービス会社からの受注が減少したことに加え、全米俳優組合のストライキによる洋画、海外ドラマ、ゲーム等の製作中止や延期の影響等も加わり、減収減益となりました。

③ メディア

メディアの売上高は、前年同期に比べ6.5%減の8,739百万円となり、営業利益は前年同期に比べ25.7%減の1,186百万円となりました。関連チャンネル子会社2社の決算期を12月から3月に変更したことに伴う増収効果はありましたが、前期に株式を譲渡した株式会社ザ・シネマの連結除外の影響等もあり、減収となりました。利益に関しては、関連チャンネル子会社において、費用削減に努めましたが、契約世帯数減少による影響により、減益となりました。

④ プロパティ

プロパティの売上高は、前年同期に比べ38.2%減の1,368百万円となり、営業利益は90.5%減の27百万円となりました。前年同期に比べ『牙狼<GARO>』関連案件の売上等が減少したこと、また当期は出資作品の償却費が発生したこと等により、減収減益となりました。

⑤ 物販

物販の売上高は、前年同期に比べ25.2%減の2,907百万円となり、営業利益は305.0%増の149百万円となりました。売上高はスーパー事業の譲渡に伴い減収となりましたが、インテリア部門の受注好調に加え、簡便法により算出した退職給付債務の減少もあり増益となりました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、98,385百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,236百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加5,136百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少5,006百万円、映像使用権の減少368百万円、仕掛品の増加3,285百万円及び土地の減少984百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、18,422百万円であり、前連結会計年度末に比べ778百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金の減少889百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、79,962百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,015百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加838百万円及び為替換算調整勘定の増加1,027百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向及び今後の見込を踏まえ、2023年6月16日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。当該予想に関する詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,583	42,720
受取手形、売掛金及び契約資産	14,410	9,404
有価証券	96	35
映像使用権	2,799	2,431
仕掛品	2,105	5,391
その他の棚卸資産	506	203
その他	1,065	1,467
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	58,554	61,637
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,492	12,507
その他(純額)	6,615	6,295
有形固定資産合計	20,107	18,803
無形固定資産		
のれん	1,521	1,352
顧客関連資産	942	838
その他	480	355
無形固定資産合計	2,944	2,546
投資その他の資産		
投資有価証券	14,295	14,161
その他	1,465	1,472
貸倒引当金	△220	△235
投資その他の資産合計	15,540	15,398
固定資産合計	38,593	36,747
資産合計	97,148	98,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,212	8,322
短期借入金	929	940
未払法人税等	715	322
賞与引当金	869	495
その他	2,361	3,873
流動負債合計	14,087	13,954
固定負債		
長期借入金	440	—
役員退職慰労引当金	336	333
退職給付に係る負債	1,553	1,409
その他	2,783	2,725
固定負債合計	5,113	4,468
負債合計	19,201	18,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,487	2,487
資本剰余金	3,588	3,588
利益剰余金	68,487	69,325
自己株式	△1,728	△1,728
株主資本合計	72,834	73,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,035	3,170
為替換算調整勘定	1,027	2,054
退職給付に係る調整累計額	340	231
その他の包括利益累計額合計	4,402	5,456
非支配株主持分	709	832
純資産合計	77,946	79,962
負債純資産合計	97,148	98,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	38,299	36,537
売上原価	27,128	26,461
売上総利益	11,170	10,076
販売費及び一般管理費	8,597	8,629
営業利益	2,572	1,446
営業外収益		
受取利息	15	82
受取配当金	101	130
出資金運用益	298	—
経営指導料	95	76
受取家賃	178	223
その他	42	55
営業外収益合計	730	568
営業外費用		
支払利息	11	19
持分法による投資損失	23	57
為替差損	123	81
不動産賃貸原価	69	79
投資事業組合運用損	—	773
支払手数料	19	23
その他	8	14
営業外費用合計	255	1,049
経常利益	3,048	965
特別利益		
固定資産売却益	—	1,042
関係会社株式売却益	269	640
特別利益合計	269	1,683
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	3,314	2,648
法人税等	1,347	795
四半期純利益	1,967	1,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	136	143
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,830	1,709

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,967	1,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△295	134
為替換算調整勘定	1,859	1,001
退職給付に係る調整額	△20	△108
持分法適用会社に対する持分相当額	45	25
その他の包括利益合計	1,588	1,053
四半期包括利益	3,556	2,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,419	2,763
非支配株主に係る四半期包括利益	136	143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、株式会社ENJIN、株式会社スター・チャンネル及び株式会社囲碁将棋チャンネルの3社は、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間において、2023年1月1日から2023年12月31日までの12ヶ月間を連結しております。

なお、決算期変更した当該3社の2023年1月1日から2023年3月31日までの売上高は2,219百万円、営業利益は175百万円、経常利益は164百万円、税引前四半期純利益は164百万円であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	16,844	6,873	9,206	1,592	3,783	38,299	—	38,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	104	1,826	144	624	106	2,806	△2,806	—
計	16,948	8,699	9,351	2,216	3,889	41,106	△2,806	38,299
セグメント利益	1,059	735	1,597	288	37	3,718	△1,145	2,572

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,145百万円には、セグメント間取引消去2百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)1,082百万円及び全社費用△2,229百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	17,614	6,436	8,615	1,050	2,820	36,537	—	36,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	116	1,555	124	318	87	2,202	△2,202	—
計	17,730	7,992	8,739	1,368	2,907	38,740	△2,202	36,537
セグメント利益	1,048	244	1,186	27	149	2,656	△1,210	1,446

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,210百万円には、セグメント間取引消去69百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)916百万円及び全社費用△2,196百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。